

## 2020年第2四半期 世界 / 国内ウェアラブルデバイス市場規模を発表

Japan, 2020年9月16日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、2020年第2四半期 (4月~6月) のウェアラブルデバイスの世界および国内における出荷台数を発表しました。

IDCが発行するWorldwide Quarterly Wearable Device Tracker 2020Q2のデータでは、2020年第2四半期の世界のウェアラブルデバイス出荷台数は、前年同期比14.1%増の8,616万台となりました。このうち、腕時計型は1,919万台で前年同期比1.3%の減少、リストバンド型は1,453万台の出荷で前年同期比8.2%の減少となり、耳装着型デバイス (音声アシスタント対応イヤホン・ヘッドフォンなど) は5,201万台で前年同期比32.6%の成長となりました。耳装着型デバイスは市場全体の60.4%を占めています。

「耳装着デバイスはスマートウォッチやフィットネストラッカーよりもはるかに強力で幅広い需要を示している」と米国 IDC コンシューマー・テクノロジー・ストラテジー・サービスのリサーチ・バイス・プレジデントであるデイビッド・マイラーは述べています。IDCの米国コンシューマー・テクノロジー購入指数調査のデータによると、米国の消費者の自己申告による耳装着型デバイスへの支出は、2019年第4四半期から2020年7月 (第3四半期初頭) にかけて増加し、4月では米国コンシューマー・テクノロジー購入指数調査全体の平均を7%上回りました。スマートウォッチとフィットネストラッカーの自己申告額は約3分の1に減少しました。これを受けてデイビッド・マイラーは、「このデータを見ると、スマートウォッチとフィットネストラッカーの購入がどれほど周囲の経済的要因の影響を受けやすいものであるかが明らかになっている。低所得者層の需要はほぼ完全に枯渇した一方で、市場の上位に位置する消費者は依然として購入意欲が強気である」と述べています。

また、「世界中では、多くの組織がCOVID-19との戦いを支援するためにウェアラブルを使用し始めている」と米国IDC

Mobile Device Tracker のリサーチ  
マネージャー ジテシュ・ウブラ  
ニは述べています。これに続けて  
「ウェアラブルは症状の追跡に使  
われるだけでなく、ソーシャル・  
ディスタンス（社会的な距離）が  
保たれていない場合に着用者に警  
告するためにも使われている」と  
しています。

また、Worldwide Quarterly  
Wearable Device Tracker 2020Q2  
では、国内のウェアラブルデバイ  
ス出荷台数についても公表してい  
ます。国内の2020年第2四半期の  
ウェアラブルデバイス出荷台数は  
合計で140.6万台となり、前年同  
期比8.1%の増加となりました。腕  
時計型デバイスは19.3万台で前年  
同期比6.9%減、リストバンド型は  
11.0万台で前年同期比54.0%増、  
耳装着型デバイスは104.2万台で前  
年同期比17.5%増となりました。

「緊急事態宣言により店舗の休業  
や外出自粛などが本格化していた  
2020年第2四半期は、市場の成長  
が鈍化、デバイスによってはマイ  
ナス成長に陥った」とIDC Japan  
PC, 携帯端末&クライアントソ  
リューションのシニアマーケット  
アナリストである菅原 啓はコメン  
トしています。さらに「ウェアラ  
ブルデバイス市場は着実な成長を  
続けているが、新型コロナウイルス  
感染症がもたらしたニューノー  
マルの生活環境においては、ウェ  
アラブルデバイスの新たな用途を  
模索する必要があるだろう」と述  
べています。

製品カテゴリー別の動向（世界市  
場）

耳装着型デバイスは今四半期、前年同期比32.6%増となり、ウェアラブル全体の60.4%を占めました。アップルはAirpodsとBeats製品を2,367万台出荷し、サムスンとXiaomiがこれに続きました。このカテゴリーは引き続きスマートフォンブランドが支配していますが、ソニー、ボーズ、Jabraなどの伝統的なヘッドホンメーカーは下位に位置しつつも、市場のプレミアムエンドに焦点を当てています。このカテゴリーのデバイスは、自宅で仕事や学習をしながら、さまざまなデバイスやサービスとの接続を保ちつつプライバシーを維持するという用途でのニーズがあるため、引き続き人気があります。

腕時計とリストバンドは全出荷量の39.2%を占め、2019年第2四半期の46.8%から減少しました。これらのデバイスを合わせた出荷台数は、前年比4.4%減の3,372万台となりました。トップベンダーであるアップル、Huawei、Xiaomiがシェアと優位性を獲得した一方で、他の多くのベンダーは、景気低迷時にこれらのデバイスが「必需品」であることを消費者に説得するのに苦労しました。しかし、Fitbitのようないくつかのブランドが疾病症状の検出に投資している一方で、サムスンに代表される他のブランドは、ソーシャル・ディスタンスを保つために着用者間の物理的な距離を追跡するウェアラブルを展開しているため、ポジティブな兆しも見られます。

クリップオンデバイスやコネクテッド・ウェアラブルなどのその

他のウェアラブルは、前年同期比58.7%の減少となり、当四半期の実績は芳しくありませんでした。1つの明るい点はOuraで、これは最近NBAがパンデミック時に選手の健康状態を追跡するために採用したものです。展開は比較的小規模で、その有効性はまだ証明されていませんが、それにもかかわらず、ウェアラブル全体への注目を集めることに成功しており、このカテゴリー全体の短期的な上昇につながる可能性があります。

今回の発表はIDCが発行するIDC Worldwide Quarterly Wearable Device Tracker 2020Q2にその詳細が報告されています。

※「カンパニー」とは、IDCの調査レポート期間において、期間内に発生した買収・統合の結果を反映する財務・法務的な企業ないし企業グループを指します。IDCではあたかもこの企業グループが過去全ての調査期間に渡って存在していたかのごとく取り扱います。こうすることで、買収・統合前後の成長率などのトレンド分析が簡単、明瞭になります。なお、カンパニーにはOwnershipが含まれますが、持ち株会社のように実質的に事業を行っていない会社は、除外します。

※ IDCの定義では、耳装着型デバイスがウェアラブルとみなされるためには、スマートアシスタント、健康・フィットネストラッキング、オーディオ体験の向上など、音声以外の機能を提供する必要があります。

※本プレスリリースは2020年8月31日の米国IDC ( マサチューセッツ州 フラミンガム ) による発表の日本語訳の抄訳をベースとしています。

< 参考資料 >

2020年第2四半期 世界ウェアラブルデバイス市場 トップ5カンパニー出荷台数 ( 単位 : 百万台 ) および対前年成長率

Company	2020年 第2四半期 出荷台数	2020年 第2四半期 出荷台数 シェア	2019年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数 シェア	対前年 成長率
1. Apple	29.4	34.2%	23.5	31.1%	25.3%
2. Huawei	10.9	12.6%	6.9	9.1%	58.0%
3. Xiaomi	10.1	11.8%	8.9	11.8%	13.5%
4. Samsung	7.1	8.3%	7.1	9.4%	0.9%
5. Fitbit	2.5	2.9%	3.5	4.6%	-29.2%
Other	26.1	30.3%	25.7	34.0%	1.6%
TOTAL	86.2	100.0%	75.5	100.0%	14.1%

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 9/2020

2020年第2四半期 世界ウェアラブルデバイス市場 トップ5カンパニー出荷台数 ( 単位 : 百万台 ) および対前年成長率

よび対前年成長率（腕時計型とリストバンドのみ）

Company	2020年 第2四半期 出荷台数	2020年 第2四半期 出荷台数 シェア	2019年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数 シェア	対前年 成長率
1. Huawei	8.1	24.0%	5.5	15.7%	45.8%
2. Xiaomi	6.9	20.4%	5.9	16.8%	16.6%
3. Apple	5.8	17.1%	5.1	14.4%	13.7%
4. Fitbit	2.5	7.3%	3.5	9.8%	-29.3%
5. Garmin	1.5	4.5%	1.7	4.7%	-8.5%
Other	9.0	26.7%	13.6	38.6%	34.0%
TOTAL	33.7	100.0%	35.3	100.0%	4.4%

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 9/2020

2020年第2四半期 国内ウェアラブルデバイス市場 トップ5カンパニー出荷台数（単位：万台）および対前年成長率

Company	2020年 第2四半期 出荷台数	2020年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数	対前年 成長率
---------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------

		シェア		シェア	
1.	108.3	77.0%	52.5	40.4%	106.2%
Apple					
2.	5.8	4.1%	11.8	9.1%	-51.4%
Sony					
2.	5.7	4.0%	1.7	1.3%	230.9%
Huawei					
2.	4.4	3.1%	8.3	6.4%	-47.1%
Garmin					
5.	4.0	2.8%	3.6	2.8%	11.0%
Fitbit					
Others	2.5	8.9%	52.1	40.0%	76.1%
Total	140.6	100.0%	30.0	100.0%	81%

Note: IDCでは1%以下の差は統計上の誤差に含まれるものとみなし、順位については同一順位として扱います。

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 9/2020

2020年第2四半期 国内ウェアラブルデバイス市場 トップ5カンパニー出荷台数（単位：万台）および対前年成長率（腕時計型とリストバンドのみ）

Company	2020年 第2四半期 出荷台数	2020年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数	2019年 第2四半期 出荷台数	対前年 成長率

		シェア		シェア	
1.Apple	2.8	42.5%	10.9	39.1%	18.3%
2.Huawei	4.7	15.6%	1.7	6.0%	182.0%
2.Garmin	4.4	14.6%	8.3	29.9%	47.1%
4.Fitbit	4.0	13.2%	3.6	12.9%	11.0%
5.Xiaomi	4.4	4.7%	0.4	1.4%	273.7%
Other	2.9	9.4%	3.0	10.8%	4.7%
Total	30.2	100.0%	27.8	100.0%	87%

Note: IDCでは1%以下の差は統計上の誤差に含まれるものとみなし、順位については同一順位として扱います。

※端数処理[四捨五入]の影響により合計値の末尾が一致しません。

Source: IDC Japan, 9/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com). All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan  
 jp-press@idcjapan.co.jp  
 +81-3-3556-4760